



向日葵

第21号

～強く明るく前向きに～

「世界とつながる」

2学年副主任 吉村 夫佐

ちょうど高校2年の頃、興味を持って取り組んでいたことが海外文通です。当時はもちろんインターネットもなかったため、外国の人とのやりとりは基本的に手紙の交換でした。イギリスの男子、オーストラリアの女子、インドの男子の3人の文通相手と、高校時代を通じてやりとりは続きました。残念だったのは、手紙の往来には何週間もかかることでした。

ところが、今やどうでしょう。遠く離れた国の人もオンラインでつながることができ、豊かな表情や声のトーンにふれて、心の動きを瞬時に読み取ることさえできます。「今自分が高校生だったら、この環境を最大限に利用するのに！」としみじみ思います。さて、この3月に台湾の臺南家齊高級中等學校の皆さんと相生高校の生徒有志が、オンライン交流の機会を2回持ちました。49回生から参加した16名が寄せた感想のうち、一部を抜粋して紹介します。次回さらに多くの参加を期待しています。Open the door to a new world!

相手の学校の雰囲気や人柄を知ったことがよかった。人と交流することが楽しいと感じて、海外に行ってみようという気持ちが強くなった。

親近感がとても湧いた。日本文化に関心が高くて驚いた。台湾の文化や価値観についても積極的に教えてくれて、お互いに学び合う良い機会になった。

英語は勉強だけではなく、人と話すためのものだと改めて感じた。

約8年間独学で勉強した中国語を実践できる機会があって、とても嬉しかった。台湾の方々と連絡先を交換し、地域や国の話をたくさん聞いたり話したりすることができた。

どうすれば日本の魅力に気づいてもらえるか考えて、自分自身が日本について知ることができたのもよかった。

何気ない会話でも新しい発見があって、とても興味深かった。異文化理解の大切さや、人と人とのつながりの温かさを改めて感じた。

～2年生での一年間の目標！！～

先日のLHRで、今年一年の目標、抱負などを書いてもらいました。どんな一年が待っているのでしょうか。わくわくが止まりませんね♡

「STGs (Sustainable Tatsuki's Goals)」

1組 男子

僕は勉強面では、来年文系選抜クラスに入って国公立大学合格を目指します。そのために勉強してテストの点数をupさせ、自主勉強の時間を増やします。部活動では、日々努力して今の課題を改善して、分からないことは友達や先輩を頼って上手になりたいと思います。負けてもくじけずに頑張りたいです。私生活では、優先順位を考えて行動できるようになります。最近家は帰ると宿題は置き去りにして友達とゲームをしてしまいます。それを今年中に直し、学力を向上させます。まずは勉強勉強勉強…

「2年生」

2組 男子

自分のクラスの人数がとても少なく、少しさみしい反面、自分の意見が反映されやすく、一人ひとりの責任が大きくなるので、成長できるいい機会とポジティブにとらえるようにしています。

1年生の時は、勉強で思うような結果にはならなかったですが、2年生になって受験が近づいてくるので、本気で取り組んでいきたいと思っています。とにかく勉強、頑張ります。

「ぜんぶやる」

3組 男子

今年は後輩が入ってきたり、さらに1年経つと最終学年の3年生になる年なので、勉強や部活ももちろん大切にしますが友達とたくさん遊びに行ったりもしたいです。3組は男子12人、女子28人で男子が全体の3分の1ほどしかいないので12人全員と話せるようになって仲良く過ごしたいです。自分は人と話すことが苦手で初めての人とは特に緊張して話せなくなるけれど、クラスの人たちとどんな形でもよいから1人1回は1年を通して話してみたいと思います。これからの1年間も全力で楽しみたいと思います。

「チャレンジ」

4組 男子

2年生になって、この1年を何事にもチャレンジする1年にしたいです。まず今までやったことのない委員長にチャレンジしました。ほかにも、具体的にどんなことをして、何に気を付けなければいけないかはまだわからないけど、自分なりに考えて行動していきたいです。

また、高1の1年間は初めての学校行事がたくさんあったけど、いつの間にか終わってしまいました。高2では、一つ一つを大切にしていきたいです。勉強面でも、テスト2週間以上前からコツコツ努力していきたいです。

「ある意味ショック療法」

5組 女子

学年が上がり、後輩も入学してきて、新しく何かを始めようかなと思った矢先、運が良いのか悪いのかじゃんけんで負けて体育委員をすることに決まりました。自分は誰かの前に立つようなタイプではない方なので正直ショックでした。しかし、一度決まったことを投げだすことは嫌なので、役目は最後まで務めたいと思います。自分の苦手なことにせよ、経験は必要だという考え方は大切だと思うので、この機会は活用していきたいです。この過程はある意味「ショック療法」ではないでしょうか。

～第4回JK杯 相生パーロン競漕編 開催!!～

4月17日(金)に相生湾で「第4回JK杯 相生パーロン競漕編」を実施しました。当日は程よい日差しに恵まれ、春空のもと、パーロン競漕体験を行いました。午前中は、パーロン体験とパーロンの歴史について学びました。地元の歴史や伝統に触れることができました。午後からはレースを実施。各チーム午前中の練習を生かし、奮闘。予選通過した5艇が決勝へ。決勝レースは5組と2組がゴール前まで接戦のデットヒートを演じ、優勝が5組白チーム、準優勝が2組紅チームとなりました。チームで協力することの大切さを感じることでできた素晴らしい一日になりました。



【生徒感想文】

2組 女子

今回のパーロン競漕体験でクラスとの絆を一気に深めていくことができました。みんなで一致団結して最後まで一生懸命やりきることで、とても意味のある1日になりました。船に乗る経験があまり無かったので、最初はすごく怖かったし、不安な気持ちでいっぱいでした。いざ漕いでみると簡単なようにみえて、上手く進まないし、体力も使うし、大変なことが多かったけれどみんなで協力して乗り越えていき、とても楽しい時間でした。パーロンの歴史について教えていただいた際には、私が想像している以上に歴史の深いものなのだなどと改めて実感しました。これからの未来へこの素晴らしいパーロン祭を受け継いでいかなければいけないのだと感じさせられることが多くありました。タイムアタックでのレースではみんなと息を合わせ、スタートから全力で走りきることができました。でも、結果は1秒差で準優勝という結果になってしまいましたが、この経験を生かして次の行事では、優勝目指して頑張ります！とっても楽しくて、とっても素晴らしいあつという間な時間でした！